

15 歳以上で川崎病による冠動脈障害があり入院された患者様

「J-ROAD/DPC を用いた日本における成人期川崎病患者の診療実態解明」に関する研究について

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものであり、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。また、お問い合わせをされることで不利益を受けるようなことはありません。

【研究課題名】 J-ROAD/DPC を用いた日本における成人期川崎病患者の診療実態解明

【対象となる方】日本循環器学会に協力する全国の施設において、2013 年 4 月から 2020 年 3 月の間に、川崎病既往で治療のため入院された 15 歳以上の方（2017 年 12 月の時点で 15 歳以上の患者様）

（参加施設一覧：

http://www.j-circ.or.jp/jittai_chosa/jittai_chosa_shisetsu_list.htm）

【研究代表者】 国立循環器病研究センター 医療安全管理室長/小児循環器内科

津田悦子

【研究の意義・目的】

私たちは、15歳以上を含む成人期の川崎病既往のある患者様の診療実態の解明に取り組んでいます。本データは、本邦の川崎病診療体制を政策科学的に考える上の基礎データとなり、この研究で得られたエビデンスをもとに、今後の診療、治療方針の確立のための研究を実施します。

【利用する診療情報】

年齢、性別、心不全重症度分類、病名、入院の主目的、疾患名、併存疾患、院内転

科、持参薬使用状況、入院前手術、カテ-テル治療、投薬、退院時転帰、入院中・後の手術・カテ-テル治療、投薬、死亡の有無、自宅退院、転院、退院時ADLスコア、入院医療費

【研究の実施体制】

この研究は、他の施設と共同で実施されます。研究体制は以下のとおりです。

研究代表者 国立循環器病研究センター 医療安全管理室長 津田悦子

共同研究機関

三重大学医学部附属病院周産母子センター	三谷義英
国際医療福祉大学・福岡保健医療学部	横井宏桂
天理よろづ相談所病院・循環器内科	田村俊寛

本研究で収集した情報を、下記の施設で保管します。

施設名及び保管責任者

国立循環器病研究センターオープンイノベーションセンター
情報利用促進部 岩永 善高
連絡先：06-6170-1070

【研究期間】研究許可日より2025年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

研究で利用する情報は、匿名化されており、原則として個人を特定できない情報です。研究情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で研究成果を公表する際にも、個人が特定できない形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 医療安全管理室/小児循環器内科

津田悦子

電話 06-6170-1070(代表)